

水産物の市況について(令和5年12月及び令和6年1月)

—東京都中央卸売市場における令和5年12月(令和5年11月21日～令和5年12月20日集計)の市況と、
令和6年1月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和5年12月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、前月から横ばいで推移し、前年同月比ではやや減少で推移しました。卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、前月からやや強含みで推移し、前年同月比ではやや弱含みで推移しました。

II 令和6年1月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

東京への入荷量は増加し、卸売価格は弱含みで推移すると見込まれます。

「さけ類(塩蔵品・冷凍品)」

東京への入荷量は銀ざけ主体に減少し、卸売価格は横ばいで推移すると見込まれます。

「さば(生鮮品)」

東京への入荷量はやや減少し、卸売価格は横ばいで推移すると見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

東京への生鮮品の入荷量はやや減少し、卸売価格はやや強含みで推移すると見込まれます。東京への冷凍品の入荷量は横ばい、卸売価格は横ばいで推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

東京への入荷量はやや減少し、卸売価格はやや強含みで推移すると見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

東京への入荷量は全体では減少し、卸売価格は横ばいで推移すると見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	12月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
5年	28	1,609	28	1,507	27	1,456
前年	29	1,671	30	1,443	27	1,450

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	12月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
まいわし(生鮮品)	527	78	75	104
さけ類(平均)	1,308	110	102	121
(ぎんざけ塩蔵品)	1,301	110	101	126
(あきさけ塩蔵品)	1,024	100	90	120
(べにざけ塩蔵品)	1,510	113	87	94
(さけ類冷凍品)	1,300	110	103	123
さば(生鮮品)	546	95	83	120
するめいか(平均)	1,542	106	126	161
(生鮮品)	1,511	109	117	151
(冷凍品)	1,600	100	144	183
あじ(生鮮品)	585	90	90	102
まぐろ(冷凍品)	1,796	111	89	102
(めばち冷凍品)	1,171	107	83	97
(きはだ冷凍品)	971	116	80	87
(くろまぐろ冷凍品)	3,348	104	79	96
(みなみまぐろ冷凍品)	2,047	101	75	97
かつお(生鮮品)	1,426	111	74	103
さんま(生鮮品)	1,477	102	144	235

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:12月の価格は1～20日までの速報値を元に算出。平年とは平成30年～令和4年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6618 賛田、西村

直通 03-3591-5613